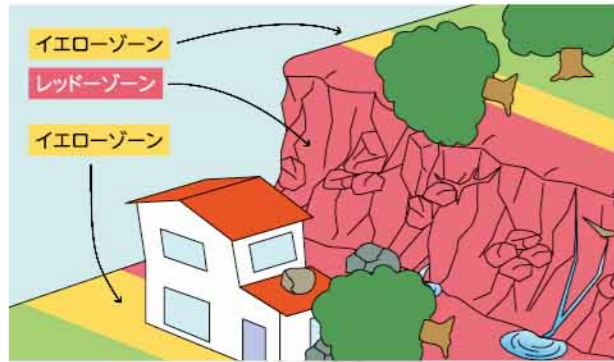


土砂災害に注意

市内で想定されている土砂災害は、「急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)」と「土石流」がある。土砂災害が発生するおそれのある区域を**イエローゾーン(土砂災害警戒区域)**、イエローゾーンのなかで、建物がこわれて命や体に危害が生じるおそれがある区域を**レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)**と言い、土砂災害防止法に基づき指定している。

●急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)の前兆現象

- ・斜面にひび割れができる。
- ・わき水の量が増える。
- ・がけに亀裂が入る。がけから石が落ちてくる。

●土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。



土石流の前兆現象

- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- ・地鳴りの音が聞こえてくる。
- ・川が濁ったり、流木が混ざりはじめる。

●イエローゾーン(土砂災害警戒区域)

土砂がきても家は壊れないが、土砂の高さによっては土砂が流れこんでくる危険性がある

→2階以上へ避難し、屋内で安全確保!



●レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)

土砂が流れこみ家が壊れる可能性があるため、一刻も早くエリアの外へ移動してください

→頑丈そうな建物へ一時的に避難!



風水害に注意

●内水氾濫



集中豪雨により、水路や下水道の排水能力を超えることで起こる現象。十分に排水できなくなると、住宅街や道路が冠水することもあります。

●外水氾濫(洪水)



増水した河川から水があふれた際に起こる現象。堤防の決壊で短時間で水が流れこみ、浸水被害が発生する可能性がある。

避難行動について

避難情報と「とるべき行動」

指定河川洪水予報とは

水位の情報です。避難行動や水防活動の判断目安になります。発表基準は下記に掲載。

気象情報とは

台風や大雨に関する情報です。気象庁から発表されます。テレビやホームページなどから新しい情報を入手するようにしましょう。

避難情報とは

避難の準備や開始のタイミングの目安となる情報です。多摩市が発令します。市のホームページやテレビのdボタン、防災行政無線などで確認しましょう。

警戒レベル	指定河川洪水予報	気象情報等	避難情報	とるべき行動
5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報	緊急安全確保	命の危機 直ちに安全確保! ●すでに災害が発生しています。命を守るための最善の行動をとりましょう。
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~				
<b>4</b> 相当	<b>氾濫危険情報</b>	<b>土砂災害警戒情報</b>	<b>避難指示</b>	<b>危険な場所から全員避難</b> ●冠水など、避難が困難になっているおそれがあります。 ●速やかに避難を!!! ●浸水想定区域外の、少しでも安全な場所へ避難してください。
<b>3</b> 相当	<b>氾濫警戒情報</b>	<b>大雨警報 洪水警報</b>	<b>高齢者等避難</b>	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ●高齢者等は速やかに避難を。 ●浸水想定区域や、河川沿いにいる方も、準備が整い次第、避難してください。
<b>2</b> 相当	<b>氾濫注意情報</b>	<b>大雨注意報 洪水注意報 ※警戒レベル2</b>		<b>自らの避難行動を確認</b> ●ハザードマップ等で避難場所や危険な区域を再確認しましょう。
<b>1</b>		<b>早期注意情報 (警報級の可能性)</b>		<b>災害への心構えを高める</b> ○災害への心構えを高めます。

## 河川の水位と避難情報

水位情報(指定河川洪水予報)	河川の基準水位		
	多摩川 (石原水位観測所)	浅川 (浅川橋水位観測所)	大栗川 (報恩橋水位観測所)
<b>氾濫の発生(氾濫発生情報) 氾濫開始相当水位</b>	7.80m	4.65m	4.45m
<b>計画高水位</b>	5.94m	3.58m	3.69m
<b>堤防 氾濫危険水位(氾濫危険情報)</b>	4.90m	2.60m	2.50m
<b>堤防 避難判断水位(氾濫警戒情報)</b>	4.30m	2.20m	2.00m
<b>氾濫注意水位(氾濫注意情報)</b>	4.30m	2.20m	2.00m
<b>水防団待機水位</b> <small>平常時の水位</small>	4.00m	1.90m	1.30m

洪水・土砂災害に備えて

避難行動について